

Indonesia Weekly

2022年10月3日



A Prudential plc (UK) company

(対象期間：2022/9/26～2022/9/30)

【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移 (2016年1月4日～2022年9月30日)



【株式市場】

世界的な中央銀行のタカ派姿勢が投資家心理への重しとなり株式市場は週初から下落し、石炭株なども軟調となりました。27日も続落し、金利上昇を嫌気してハイテク株などが低迷しました。28日は引けにかけて売られ、好決算を発表した建設機械関連会社や、観光インフラへの投資計画を発表した自動車関連株などもさえない展開となりました。29日も投資家のリスク回避姿勢が続き、銀行やハイテク株などが下げをけん引しました。30日は銀行株などに国内投資家の買いが見られやや上昇しましたが、インドネシア株式市場は前週末比下落しました。

2022/9/23	2022/9/30	変化率
7,178.58	7,040.80	-1.92%

【債券市場】 インドネシア国債10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2022年9月30日)



【債券市場】

週初は米国債利回りの急上昇（価格は下落）を受けてインドネシアの国債利回りも上昇しました。27日に行われた国債入札は投資家心理の悪化を受けて低調となり、発行額は年初来で最低となりました。29日は国会で2023年の予算案が可決され、5.3%の経済成長を維持するために3,061兆ルピア（約2,000億米ドル）の支出が承認され、財政赤字は国内総生産（GDP）比2.84%に抑えられました。スリ・ムルヤニ財務相は世界的な金融引き締めとインフレ加速を背景に債務コスト上昇の可能性を指摘しました。10年国債利回りは前週末比で上昇しました。

2022/9/23	2022/9/30	変化幅
7.289	7.373	+0.084

【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移 (2016年1月1日～2022年9月30日)



【為替市場】

ルピアは週初から対米ドルで弱含みとなりました。インドネシア中央銀行（BI）は断続的にルピア買いの介入を行いました。株式、債券市場からの外国人投資家の資金流出などを背景に、週を通じて対米ドルで軟調となりました。BIはルピアの下落について、世界的な中央銀行によるタカ派姿勢を受けた投資家心理の悪化による一時的なものであるとコメントしました。また、貿易や直接投資取引における米ドルへの依存を減らすため、韓国とオーストラリアの中央銀行との現地通貨決済を拡大する計画であると述べました。ルピアは前週末比で対米ドル、対円ともに下落しました。

2022/9/23	2022/9/30	変化率
0.9520	0.9488	-0.34%

100インドネシアルピアの対円レート

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用するグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売上の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国プルデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているプルデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるプルデンシャル・アシュアランス社とは関係がありません。